

## フォーラム・セミナー報告

## 第12回日常的FD懇話会「教学IRが果たす役割と今後の展開」を開催しました

話題提供：高橋哲也先生(大阪府立大学教授、学長補佐)  
 畑野 快先生(大阪府立大学特任助教)  
 紺田広明先生(関西大学アドバイザースタッフ)

日時：3月16日(水)14:30～16:30  
 場所：第2学舎2号館C303教室

今回は教学IR先進大学でもある大阪府立大学から高橋先生、畑野先生をお招きしました。高橋先生からはこれまでの副学長としてのご経験、さらには現在の学長補佐としてのお立場から全学レベル(マクロ)について、畑野先生には実際に教育改善の基盤となる、学士課程や教育プログラムレベル(ミドル)について、事例をお聞かせいただきました。今回は学内のイベントとして限定することで、普段なかなか公開できないデータ分析の結果もご提示い

ただき、改めて教学IRが果たせる役割の大きさを認識することができました。当日は本学からも、現在、推進中である教学IRの全体像について、教学IRプロジェクトの紺田先生にも報告いただきました。当日は平日の午後早い時間開催にも関わらず、教学IRプロジェクト関係者中心に20名が参加し、そのマネジメントや効果について、双方の大学において有意義な議論を展開することが出来ました。

(教育推進部 森 朋子)



日常的FD懇話会の様子

## 今期もFD Caféを開店しました

4月23日(土)、恒例の“FD Café”(新任教員研修会)を開催しました。新年度開始早々の気忙しい時期でありましたが、12名の参加を得ました。新任校での授業

を数回経てからの方がリアリティに満ちた対話ができるとの考えから、2011年度より4月の下旬を開店の時期にしています。

また一昨年度より、CTLが推進する各種プロジェクトの内容をご理解いただき、それを日常の教育実践に反映していただけるようにメニューに変更を加え、充実を図っています。

このたびのCafé Timeはカードに書かれた4桁の数字の共通点を発見してグループメンバーを探すアイスブレイクから始まり、その後、クリッカー(オーディエンスレスポンスシステム)の活用方法、TA・LAなどの学生の教育力を活用する制度の説明、関西大学LMSの使い方に関す

るインストラクション、ライティング・ラボやコラボレーション・コモンズなど、CTLの新しい取組の紹介、あるいはグループワークの意義と価値を学生が実感できる手法の体験など、さまざまなインフォメーションやコンテンツ、メソッドを提供できたと思います。

コンテンツやメソッドに関する情報等を提供することも大切ですが、学部や専門分野を越えた教員のつながりを大切に育んでいくこと、これあってこそ豊かなFDを展開できると考えています。今後も、新しいメニューを開発していくつもりです。4月以外の開店も考えております。その折には、どうぞお気軽にお訪ねください。

(教育推進部 三浦真琴)



FD Cafeの様子

日時：4月23日(土)13:00～16:30  
 場所：第2学舎2号館C203教室

## ライティングラボの活動のご案内

## ～ラボは今年も熱いです～

ライティングラボ(wlabo@ml.kandai.jp)では、学部生のライティングレポート・論文をはじめ、さまざまな文章作成のお手伝いを

## (1) ライティングラボでの支援

ライティングラボは、千里山キャンパスでは第1学舎1号館5階と総合図書館ラーニング・コモンズ内ライティング・エリア、高槻キャンパスではC棟1階学生サービスステーション内にあります。大学院博士後期課程の学生(TA)が学部生に文章作成についてのアドバイスをしています。レポートや卒業論文はもちろん、発表資料(レジュメやスライド)や留学・ゼミの志望理由書などの学生生活にかかわる文章まで、さまざまな種類の文章に対応しています。

文章作成にまつわる学生の悩みは多様です。その一つひとつを解決していくことで、学生が自信を持って文章を書けるよう、支援しております。

ゼミや授業との連携も積極的に進めており、現在は先生方からのお問い合わせも増えております。例えば、授業でのラボ利用ガイダンスの実施や、先生から学生へのラボ利用の指示などの形で連携しています。

ご関心のある先生は、メールでご連絡くださるか、第1学舎1号館6階のラ

イティングラボ2まで、ぜひ気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。



## (2) レポートの書き

お昼休みの30分間でレポートの書き方のワンポイントを解説する講座を開催しています。2016年度は、4月に千里山キャンパスと高槻キャンパスで開催し、追加開講するほどの大盛況ぶりでした。今後も、レポート作成に役立つテーマ(レポートの構成、文献の引用などの基本的なテーマ、文献の批判的読み、要約、